

しろくま通信



前回より「神無月」について書いています。

神社のお参りは、通常「二礼二拍手一礼」ですが、出雲大社では「二礼四拍手一礼」です。

縁結びの神様ですから、四拍手はまだ見ぬ相手の分も合わせてとか、四回手を合わせて「幸せ」とか言われていますが、「人と神の魂」である「一霊四魂」を表していると考えます。

和魂（にぎみたま）、荒魂（あらみたま）、奇魂（くしみたま）、幸魂（さきみたま、さちみたま）がそうです。和魂は調和、荒魂は活動、奇魂は靈感、幸魂は幸福を担うとされています。

また神事の時は、「八」という末広がりの意味か、八回手を合わせることもあります。

『一霊四魂』

くしみたま

奇魂 (智)

探究する力

あらみたま

荒魂 (勇)

達成する力

なおひ

直霊

省みる

にぎみたま

和魂 (親)

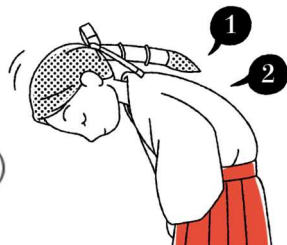
調和する力

さちみたま

幸魂 (愛)

愛し育てる力

直霊が4つの魂を統括し、省みることで人格が発達する。



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<https://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！

